

人材育成と女性活躍 継続に向けて

中国木材株式会社は、製材事業を核とした住宅用構造材の総合メーカーです。今年度、男女共同参画推進事業者として表彰された鹿島工場を訪問し、女性の職域拡大や環境整備などについてお話を伺いました。

女性の活躍を推進

中国木材では、会社の基本方針の中で「女性が活躍できる職場」を重点項目として掲げ、さまざまな男女共同参画の取り組みを行なっています。かつて男性社員が圧倒的に多かった職場も、鹿島工場では約20パーセントが女性社員となり、女性の就業率が上がっています。また、女性役職者の登用にも積極的に取り組んでいます。



管理課 長原さん

環境整備

「女性社員は結婚や出産後に退職する方が多かったんです」と管理課の長原さんは言います。そこで、女性社員

に仕事を続けてもらうためにさまざまな取り組みを行なっています。その一つとして、育児休暇を経験した女性社員が、入社間もない社員に対して、育児や時短勤務などの制度を説明する場を設けています。キャリアプランをより実感してもらうことで、将来の妊娠・出産に対する漠然とした不安の解消を図っています。ここ数年では育児休暇取得者全員が復職しています。社員それぞれに合った働き方を一緒に考え、生涯働いてもらえる環境作りを入れています。

「離職者の少ない組織づくりを目指すことが、結果として、女性雇用促進の基盤につながると考えます」と物流課の西井課長は言います。女性社員の増加に伴い、中長期的な視野で人材教育を行なっています。例えば、フォークリフトの作業は男性がするものとするイメージを変え、ステップごとのゴールを明確にし、女性も技術職として活躍



物流課 西井課長

できるための教育に力を入れています。

職域の拡大

鹿島工場には、重い木材を運ぶための大型重機が140台以上あります。従来フォークリフトオペレーターは男性のみでしたが、現在では、女性もその業務を行なっています。ここ数年は、高校新卒の女性社員3名が本人たちの希望でフォークリフトオペレーターとして働いています。

今までの工場事務所からイメージチェンジ



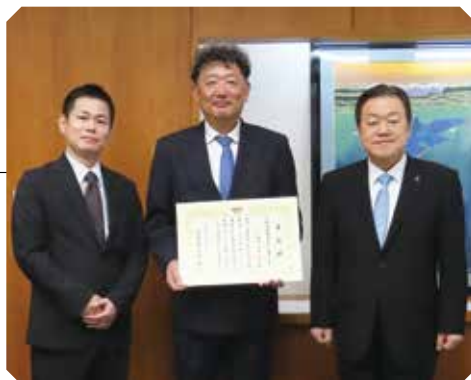
令和7年2月に完成した新事務所棟では、従業員の声をもとに、女性専用のパウダールームや救護室も設置されました。社会の変化に柔軟に対応し、着実な歩みで女性が活躍できる強い組織づくりを目指していると感じました。

令和6年度 神栖市男女共同参画推進事業者表彰 受賞者

神栖市では、地域や職域において男女共同参画の推進に積極的に取り組んでいる事業者・団体・個人を表彰しています。今年度は、中国木材株式会社鹿島工場を表彰しました。

中国木材株式会社 鹿島工場

女性活躍・職域拡大
フォークリフトオペレーターとして女性が活躍
人材育成カリキュラム
女性も現場で技術職として活躍できるよう、アンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)を払拭する教育や適性に応じた人材配置
働きやすい環境整備
新事務所棟には、女性専用のパウダールームや救護室を完備



管理課 主任 長原さん、工場長 柚山さん、石田市長

大型フォークリフト女性オペレーター

物流課で大型フォークリフトオペレーターとして活躍している田畑さんにお話を伺いました。



物流課 田畑 杏奈さん(神栖市出身)
大型フォークリフトオペレーター。
入社3年目で港湾荷役作業を行なう。
中国木材株式会社の全国数力所にある事業所の中で、この業務に従事する初めての女性。

——この仕事を選んだきっかけはなんですか？

「祖父と父が、現場の仕事で重機に乗っている姿を見てカッコいいと思い、私も乗りたいと思うようになりました。もともと体を動かすことが好きで、事務職より現場が向いていると思っていたのですが、会社見学時に先輩がフォークリフトに乗って作業する姿を見て、私もこの場所で働きたいと思いました」

——オペレーターになった経緯を教えてください

「社内の女性ではまだ誰も従事したことがない大型フォークリフトオペレーターに魅力を感じ、努力しました。入社後にフォークリフトの免許を取得し、3tや5tの小型フォークリフトで経験を積みました。その後、工場から出る製品の運搬

——やりがいや大変なことはありますか？

「大型フォークリフトで港湾荷役作業に従事する女性はまだ初めて、ということにやりがいを感じています。フォークリフトの運転は、視界が狭くなるので注意力がとても大事です。積み上げた木材が倒壊しないよう、常に気を張りながら、何度も練習を重ね、必要な感覚を身に付けるよう努力しています。覚えることがたくさんあって大変ですが、上司や先輩にほめてもらえたときには、頑張ったと思えます」

——将来やりたいことや目標はありますか？

「結婚、出産しても仕事を続け、楽しさややりがいを持ちながら、女性でも現場で頑張っていけるということを実現したいです。私を見て、この仕事を頑張ってみたいと思える人が後に続いてほしいと思っています」

将来は、みんなを引っ張っていただける職者を目指しています。相談しやすく、親しみのある先輩になって、職場の人たちの声を聴き、誰もが働きやすい環境づくりにつながっていききたいです」

中学から高校までの6年間は、ソフトテニス部に在籍し、趣味としてサイクリングをするなど、活動的な田畑さん。将来の目標について明るく語ってくれた姿に、強い意志を感じました。取材後は、笑顔で「真面目に答えすぎちゃったかなあ」と言いながら業務に戻ると、目の前の木材を、滑らかな動きで船まで運ぶ姿を見せてくれました。

生き生きと輝く姿を見せてくれた田畑さんの今後の活躍を応援しています。

